



繪本東土産

13
1.464
23





13 遠
1464
23

画工北尾政演
七笑り不中下

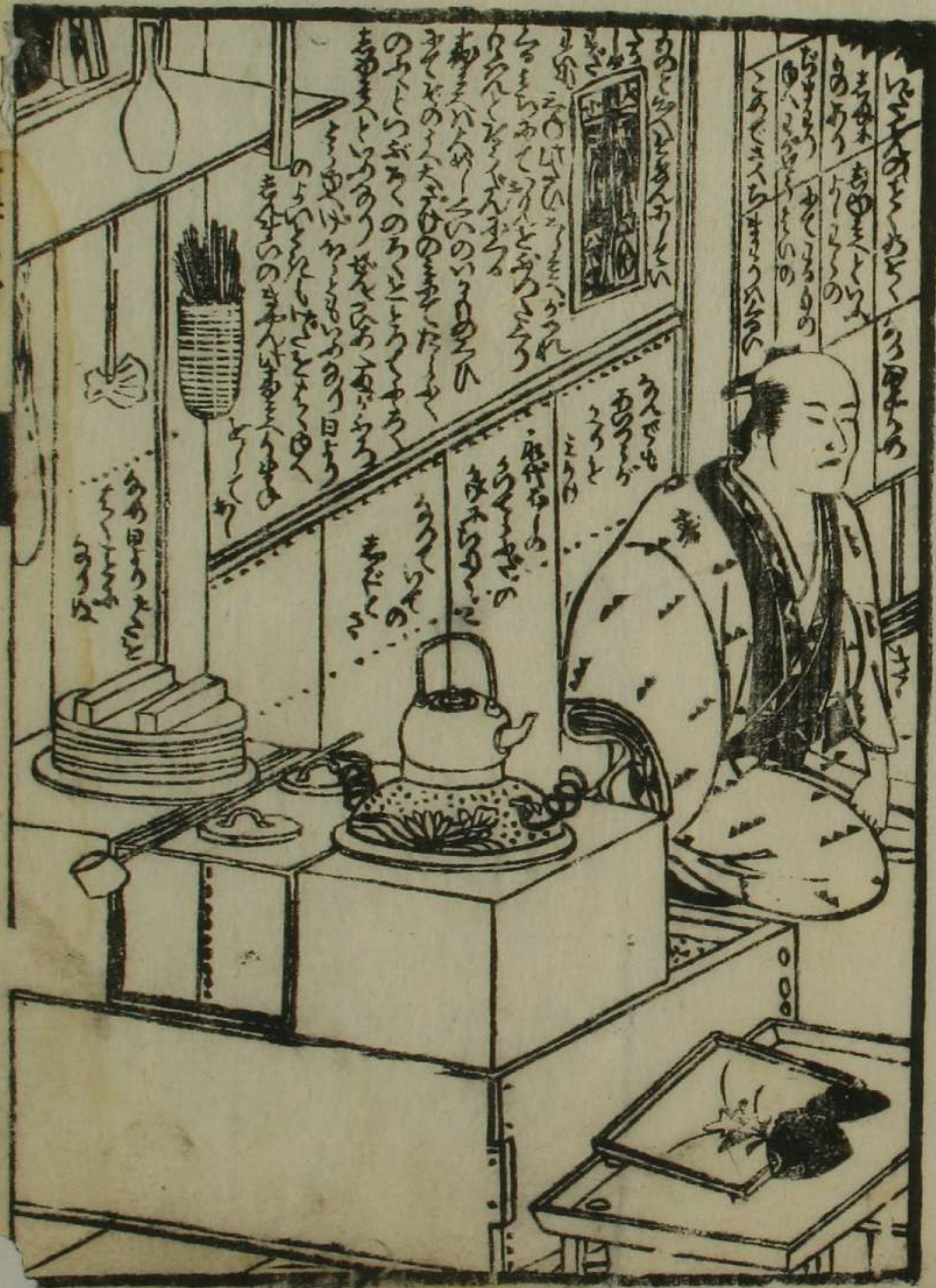
清經画
友とちたおしき







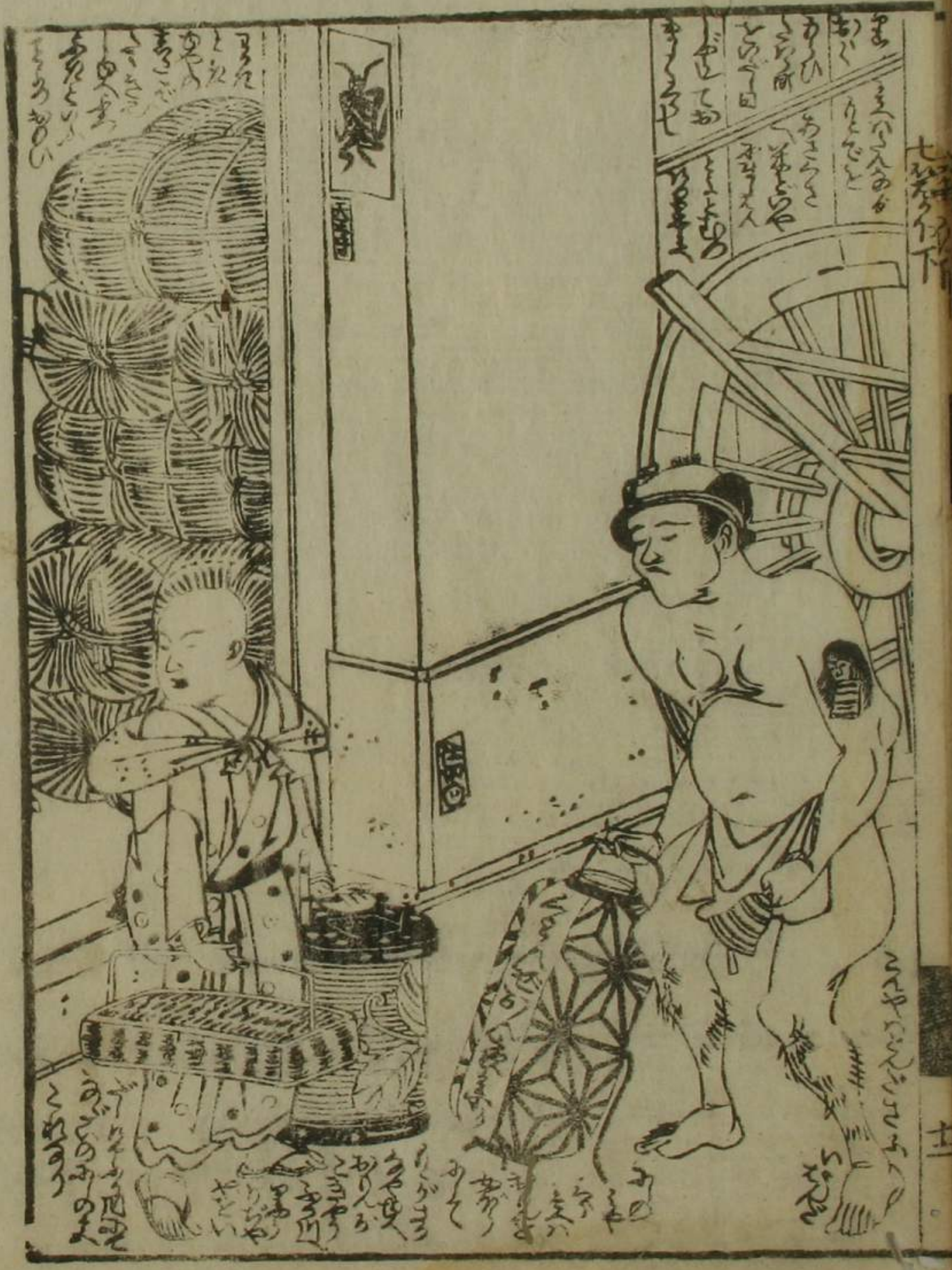
















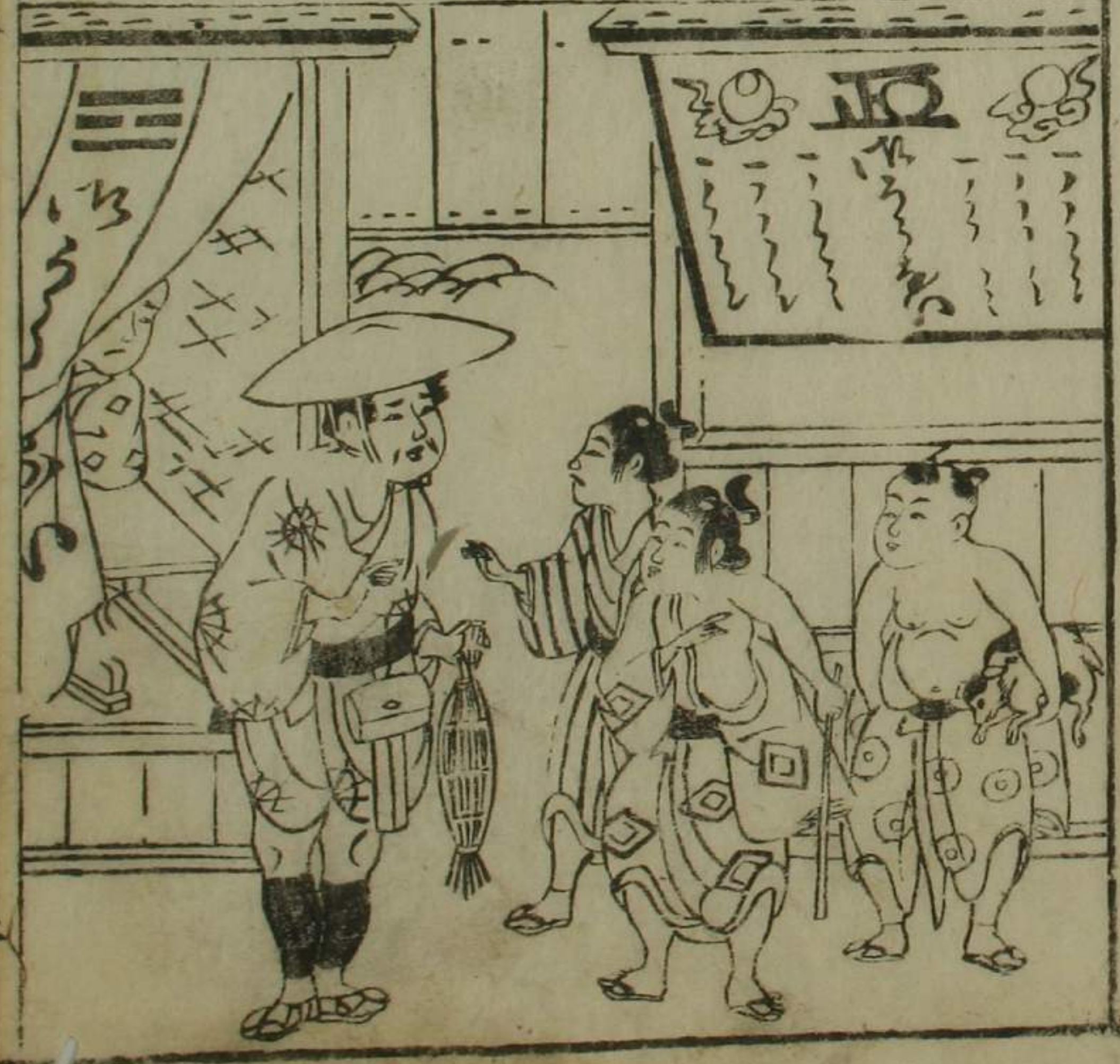
▲自落降通
 つれてし入るるもあつた
 わつたあつたあつたあつた
 くはたあつたあつたあつた
 はあつたあつたあつたあつた
 今もあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつた
 大せつあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた



重工
 北尾政演
 十五

▲うらやみ
 うらやみのひをうらや
 とととととととととと
 あいこもさちかんと
 とととととととととと
 人のてててててててて
 たさたさくわらわのが上
 下してわをてててててて
 らいぬいぬいぬいぬいぬ
 ひるもももももももも
 うらやまのうらやまを
 あやうらぬらあやうら
 ひるせうらぬらあやうら
 つとつとつとつとつと

うらやみ
 うらやみ



▲樂
 うらやみのひをうらや
 とととととととととと
 あいこもさちかんと
 とととととととととと
 人のてててててててて
 たさたさくわらわのが上
 下してわをてててててて
 らいぬいぬいぬいぬいぬ
 ひるもももももももも
 うらやまのうらやまを
 あやうらぬらあやうら
 ひるせうらぬらあやうら
 つとつとつとつとつと



▲入鼻

酒よりめだかめつとあつて
 ありの酒をいれし人（田代）
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人



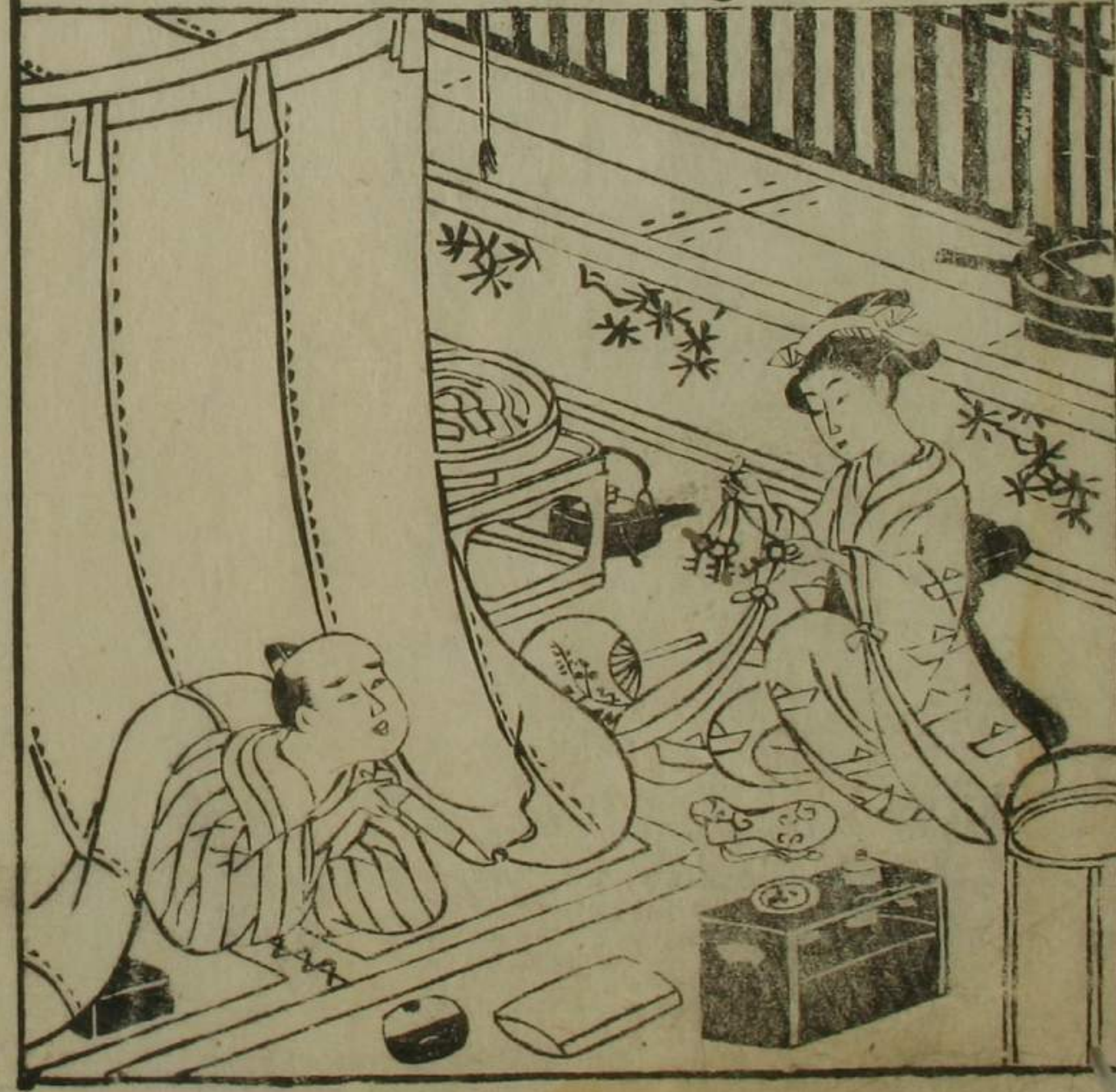
▲田舎

ちのちお日ざらぬさ
 いの文どへえ 合身
 がさるひくぬひくもかみ
 つらうらひひくつあり
 あつかさあつりきうも
 もまもいぬもももも
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人
 酒の所入りの酒をいれし人



めいしんて
 わいんか

▲うさぎ
とんぼのこころうさぎ
がらぐらぐらうさぎが
うさぎのこころうさぎ
こころをうさぎとわかれ
いさよめうさぎのこころを
うさぎのこころうさぎとわ
うさぎのこころうさぎとわ
うさぎのこころうさぎとわ
うさぎのこころうさぎとわ



うさぎ
うさぎ
うさぎ
うさぎ

▲菜うり

あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ

あつちのうさぎのこころ
あつちのうさぎのこころ

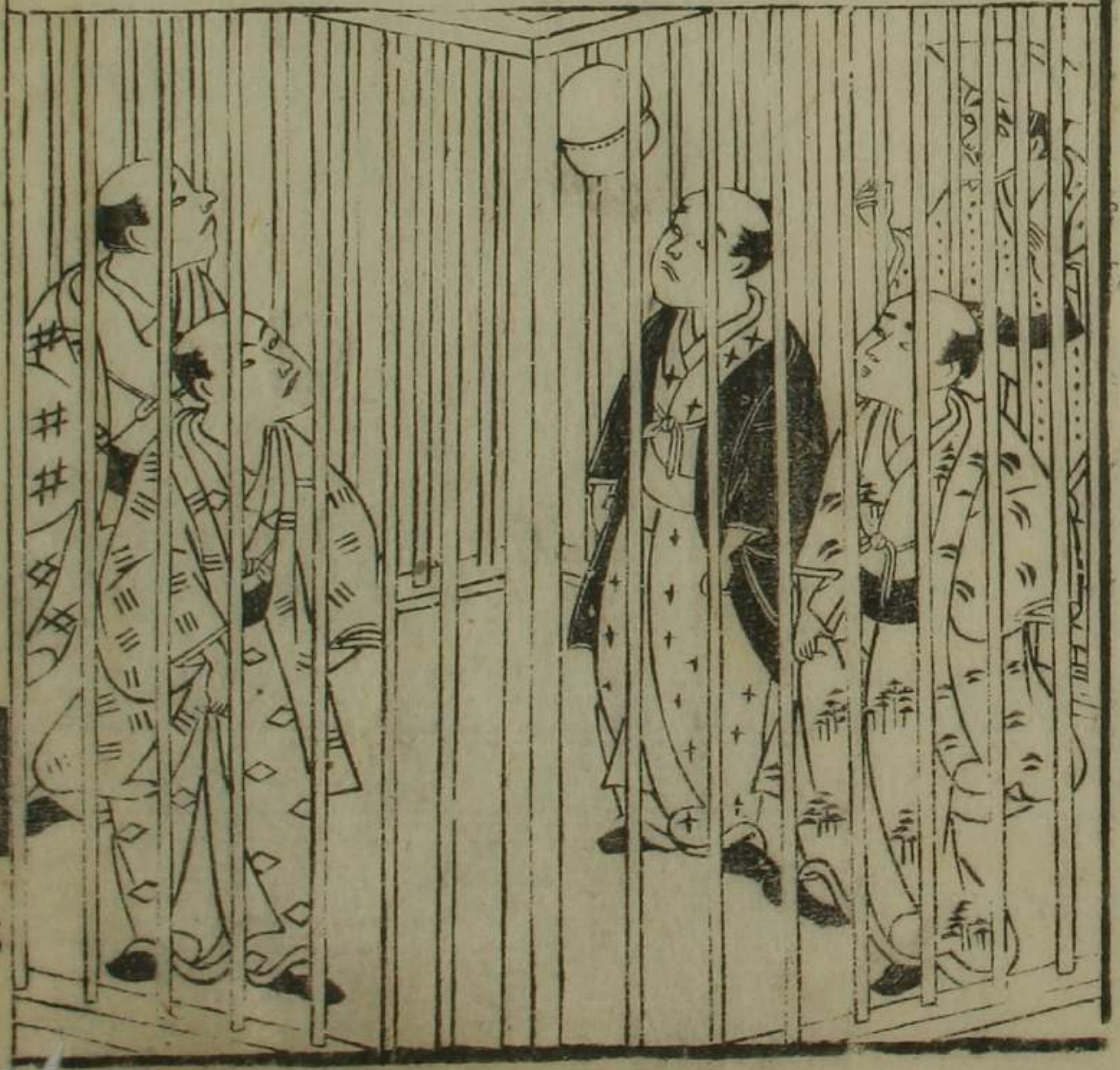


せんべいめい二入ぶきあて
 つねをいふおむけりぐス
 いざとらあつつかの男
 わくこのやまあつてま
 むらけこれとまわらう
 こわあめがしんあふ
 てまらわらういざ
 とあがむあつひらや
 いざとあまめざく
 あつてまらういざ
 こわあめがしんあふ
 てまらわらういざ



二年
 三月
 四月

せんべいめい二入ぶきあて
 つねをいふおむけりぐス
 いざとらあつつかの男
 わくこのやまあつてま
 むらけこれとまわらう
 こわあめがしんあふ
 てまらわらういざ
 とあがむあつひらや
 いざとあまめざく
 あつてまらういざ
 こわあめがしんあふ
 てまらわらういざ



せんべい
 つね
 いざ
 わく
 むらけ
 こわ
 てま
 とあ
 いざ
 あつ
 こわ
 てま

▲ 世の人の心は
 おもひのたもとらひのた
 ありてはつらむらねわさ
 らぬ心おととしにやは
 世の人の心はつらむら
 ねわさのたもとらひのた
 ありてはつらむらねわさ
 らぬ心おととしにやは
 世の人の心はつらむら
 ねわさのたもとらひのた
 ありてはつらむらねわさ
 らぬ心おととしにやは



▲ 世の人の心は
 おもひのたもとらひのた
 ありてはつらむらねわさ
 らぬ心おととしにやは
 世の人の心はつらむら
 ねわさのたもとらひのた
 ありてはつらむらねわさ
 らぬ心おととしにやは
 世の人の心はつらむら
 ねわさのたもとらひのた
 ありてはつらむらねわさ
 らぬ心おととしにやは



▲物知りおまん
 そんちとりのあいのち
 うおりのりのていはい
 みあをそあつてふつと
 せがわつてんあつたの
 とりのいあんとおあつて
 みけんたやとまきん
 とまんととまんのくひ
 がらあつてあつとまきん
 せつりりまらむとまきん
 あつたのこまきんとい又
 あんのこまきんこのわれ
 りわれはまの
 三人の
 きつて



▲おあつていよ
 おあつていよのこまきん
 とまきんとい又
 あんのこまきんこのわれ
 りわれはまの
 三人の
 きつて



▲さうんど

いふりのうらまへ
あそびふゆらりるがそ
しとのららりるまが
アんとくといふゆへ
うらまへくサト一も
ふいふさうらんとく
といふがあまらぬの
とそぶるの「サカ
といふがうらまへの

劇ハ
アノ
ハ
ハ



▲新目せ

とてゆかを町へいりて
さういふをさういふの町
さういふわけや町
ついでにさういふ
屋の新目せがさうい
ハサウといはんや
がとんざりていふ
アヤハサウといふ
やとんざりていふ
いふかといふ
いふかといふ
いふかといふ
いふかといふ
いふかといふ
いふかといふ



六つ目あそびのつう
 おつうあそびさしお
 つうのつうあそびさし
 お六男の色のまのつう
 てつうあそびさしお
 とつうあそびさしお
 さんも色のまのつう
 じやつうあそびさし
 男もつうあそびさし
 女もつうあそびさし
 さつうあそびさし
 目とつうあそびさし
 あり



徳
 画

